

算 数

I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構成となっているか。
	(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されているか。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されているか。
教科 独自 観点	(4) 学年間で指導内容を重複させるなど、適切な反復による学習が展開できるよう工夫されているか。
	(5) 思考の過程や判断の根拠などを、言葉や図、数、式、表、グラフなどを用いて表現し伝え合う活動が工夫されているか。
	(6) 数学のよさに気付き、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとするよう工夫されているか。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長	
共通 観点	(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに豊かな記述内容となっているか。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

II 選定資料利用上の留意点

- 1 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 2 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 3 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

Ⅲ 具体項目

観点	発行者	東 書	大日本	学 図	教 出	啓林館	日 文
1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長	(1) 指す教科の特質に「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構成となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭に学習の進め方やノートまとめ方を示したり、新たな問題について考えを共有する場面を設定したりすることで、自ら学び、能力を高めることができるよう配慮されている。 4～6年の「算数で読みとこう」に、環境、防災、外国とのかかわり等、現代的な教育課題を取り上げること、これからの国際社会を生きるために必要な基盤となる人間性を養うことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 3～6年の「算数お仕事インタビュー」に、実際に仕事に就いている人からのメッセージを掲載することで、児童が算数を学ぶ意義を理解し、自ら学び、能力を高めることができるよう配慮されている。 「なるほど算数教室」に、算数にかかわる日本の歴史や文化、外国の算数にかかわる歴史を掲載することで、我が国の伝統・文化の理解と国際理解を深めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2～6年巻頭に「学びの力」及び「学び方」を系統的に掲載し、各単元の学習内容、学習場面と結びつけること、児童が算数を学ぶ意義を理解し、自ら学び、能力を高めることができるよう配慮されている。 「深めよう」で、環境、安全・防犯、防災、伝統文化等にかかわる課題を取り上げること、これからの国際社会を生きるために必要な基盤となる人間性を養うことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度初めの授業開き教材では、オープンエントドの問題を設定することで、具体的な問題解決の過程を体験し、粘り強く考え、自ら学び、能力を高めることができるよう配慮されている。 4～6年に「いろいろな国のわり算の筆算」や「和算」「対称な形の伝統工芸品デザイン」「和食」を掲載することで、我が国の伝統・文化の理解と国際理解を深めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 6年の「ひろがる算数」に、様々な職業に就いている人からのメッセージを掲載する意義を理解し、自ら学び、能力を高めることができるよう配慮されている。 全学年で設定されている「まなびをいかそう」「学びをいかそうわくわく算数ひろば」に、身近な話題や、健康安全、自然環境、国際協力等の設問を示すことで、社会性や人間性を養うことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年で掲載されている「自分でみんなに、他者と考えを共有し、解決を図る学びの過程を分かりやすく示すこと、協力的に学び、自らの力を高めることができるよう配慮されている。 3～6年「活用」「なるほど算数」に、「オリンピック」「和食」「和算」など、国際理解と我が国の伝統・文化に親しみをもてるような題材を掲載することで、社会性や人間性を養うことができるよう配慮されている。
	(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然に関する題材が扱われているか。	<ul style="list-style-type: none"> 5年下「単位量あたりの大きさ」に、自分の住む県の人口密度を調べる活動を設定したり、「帯グラフと円グラフ」に、本県のみかたんの収穫量を掲載したりすることで、郷土への関心を高めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 5年「帯グラフと円グラフ」に、自分の住む県について表やグラフを使ってまとめる学習を取り上げること、郷土への関心を高めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2～6年の学年末に、学校や地域のことをクイズで示したり、生活をよりよくするための提案を考えたりする活動を取り上げること、郷土への関心を高めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 5年「割合とグラフ」に、「長崎県のイチゴの収穫量」、2年下「1を分けて」の導入に、長崎の名産品であるカステラの写真を掲載することで、郷土への関心を高めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 6年「対称な図形」に、眼鏡橋を掲載したり、4年上「小数」に、女神大橋の長さの問題として取り上げたりすることで、郷土への関心を高めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 6年「対称な図形」に、長崎県のNマークを掲載したり、5年「帯グラフと円グラフ」に、長崎県のレタスとジャガイモの生産量を取り上げたりすることで、郷土への関心を高めることができるよう配慮されている。

Ⅲ 具体項目

発行者		東 書	大日本	学 図	教 出	啓林館	日 文
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、 確かな学力の育成を図る上での特長	(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の「ほじゅうもんだい」や、2段階で構成された巻末の「もっと練習」では、児童の習熟度に応じた問題を十分に設けることで、個に応じて基礎的・基本的な知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。 知識を身に付ける学習やグラフなどの技能を高める学習では、インターネットを利用して理解を深めるコーナーを設けることで、基礎・基本の定着と技能の習得が図られるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を学年1冊にし、めあてに対応したまとめを示したりすることで、復習を促し、基礎的・基本的な知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。 3年以上の単元末の「たしかめ問題」では、用語や計算のしかたなどを再確認したり、難易度の高い問題に挑戦したりするページを設けることで、基礎・基本の定着や習熟度に応じた指導ができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 1時間の学習内容に対応した練習問題や、習熟を図る練習問題を効果的に位置付けることで、基礎的・基本的な知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。 2～6年では、考えや疑問を記入する「考えるノート」と、学習内容を見やすくまとめる「まとめるノート」を掲載することで、書写活動を充実させ、学習内容の定着が一層図られるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「課題→ステップ→発表・話し合い→振り返り・まとめ→たしかめ練習」という展開で紙面を構成したり、巻末に「教科書に出てきた言葉」を載せたりすることで、基礎的・基本的な知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。 単元の終わりに、「ふりかえろう」「たしかめよう」を設定したり、単元の途中に「ふくしゅう」のコーナーを設けたりすることで、基礎・基本の定着と技能の習得が図られるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元末に、「学びのまとめ」を設けることで、つまずきやできる確認しながら学習を進め、基礎的・基本的な知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。 2～6年では、各単元の設問ごとに「もっと練習」のページを載せて、問題数を十分に確保することで、基礎・基本の定着や習熟度に応じた指導が展開できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2～6年の巻末の「しっかりチェック」問題で繰り返し練習することで、基礎的・基本的な知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。 2～6年の「つなげる算数」では、既習の内容をとらえ直し、数量や図形の性質などに関連付ける場面を設けることで、学習内容の定着を繰り返し図ることができるよう工夫されている。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要となる思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 単元末に「いかしてみよう」「つないでいこう算数の目」を設定することで、学んだことを生活に生かして考えたり、数学的な見方・考え方に焦点を当てて振り返ったりして、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「じっくり深く学び合おう！」では、自分の考えを表現する活動を紹介したページを設けるとともに、多様な問題解決の方法を掲載することで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2～6年の巻頭に、「算数で見つけたい、考え方」を一覧で掲載したり、解決に必要な「見方・考え方」を側注に示したりすることで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「算数のミカタ」を、各領域を貫く数学的な見方・考え方に着目したコーナーとして掲載することで、後の学習の中で繰り返し用いながら、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 思考を助ける図や表、式を適宜例示し、根拠や手順などを説明する活動を促すページを設けることで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2～6年の上巻末に、自分の考えを分かりやすく説明するための基盤となる「算数で使いたい言葉・考え方」を掲載することで、数学的な表現力が育成されるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

発行者		東 書	大日本	学 図	教 出	啓林館	日 文
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、 確かな学力の育成を図る上での特長	(2) 知識・技能を 活用して課題を 解決する ための必要な 思考力、判断力、 表現力等が育成 されるよう工夫 されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 2～6年の「今日の深い学び」では、見通しをもって論理的に考え、判断した過程や結果を数学的に表現し、伝え合う活動を促すことと、ページを設定することで、思考力、判断力、表現力等が高まるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2～6年の巻末「ひらめきアイテム集」において、獲得した数学的な見方・考え方を整理し、以降の学習においても働かせることで、思考力、判断力、表現力等が高まるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「深めよう」では、単元で身に付けた知識・技能を活用して、生活に即した問題に取り組む活動を設けることで、思考力、判断力、表現力等が高まるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「算数で使いたい考え方」では、数学的な考え方を図や式、言葉で示すことで、自分で考えたり、他者と学び合ったりする際に繰り返し活用し、思考力、判断力、表現力等が高まるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 4～6年では、「にている」「きまり」「もどる」の考え方を「算数でよく使う考え方」として整理して示すことで、問題解決の場面で活用し、思考力、判断力、表現力等が高まるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 4～6年の「活用」では、単元や領域を結びつけた内容を取り上げ、理由や方法などを記述で説明するコーナーを設けることで、思考力、判断力、表現力等が高まるよう工夫されている。
	(3) 主体的に学習に 取り組む態度が 身に付くよう 工夫されている か。	<ul style="list-style-type: none"> 2～6年の上巻巻頭の「学びのとびら」では、問題解決の過程をイメージしたり、「マインोटをつくるう」では、思考し表現する活動において、書く活動と読む活動とを組み合わせ、主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。 単元導入のページで、事象や生活経験を取り上げること、学習意欲を高めたり、既習事項を振り返り単元の課題を見いだしたりすること、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2～6年の巻頭に「算数まなびナビ」として、学習の進め方や問題解決の流れを示したり、日常生活や他教科において学んだことを生かす場面を掲載したりすることで、興味・関心を高め、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 単元導入の「新しい学習がはじまるよ」では、身近な事象の中から児童自らが問題や疑問を見いだす題材を取り上げること、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 紙面の左側に「知りたいな」「調べたいな」などのガイドを示したり、学習のめあてが児童の疑問や話し合いの中から自然に発生する問いを設定したりすることで、意欲を持続させ、主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。 単元導入の「？をはっけん」では、日常生活や算数の中から問題を見出す場面を取り扱うことで、問題をより身近なことからとらえ、興味・関心をもつことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2～6年の巻頭に、「算数をはじめよう！」を設け、問題解決のプロセスと「主体的・対話的で深い学びのモデルページ」を示すことで、問いをつないで解決を図る活動を促し、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 単元導入で、身近な題材から問題を見出す活動を取り上げたり、単元末で、学習したことを日常に活用する場面を設定したりすることで、児童が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2～6年の巻頭に、「学習のすすめ方」「わくわく算数学習」のページを設定し、児童の事柄とのつながりを示したり、問題解決の流れを帯で示したりすることで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 単元導入で「単元のとびら」を設定し、日常生活や既習事項と関連させた題材を示すことで、児童が自ら課題意識や見通しをもって学習に取り組み、児童の主体的な学習が引き出されるよう工夫されている。 「自分でみんなで」では、問題の意味をつかんだり、学習を振り返り思考を整理したりする場面を設定することで、児童が主体的に学習に取り組んだり、新たな学習への興味・関心を高めたりできるよう工夫されている。 	

Ⅲ 具体項目

発行者 観点	東 書	大日本	学 図	教 出	啓林館	日 文
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(4) 学年間で指導内容を重複させているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元導入に、振り返りのページを設け、既習の内容を整理し振り返ることによって、新しい学習が展開できるよう工夫されている。 2～6年の巻末に「ほじゅうのもんだい」や、単元の間に「おぼえてあるかな？」を設定することで、既習の内容を生かした学習ができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「もくじ」に学習する単元と関連すること、他の既習内容と関連しながら学習を展開できるよう工夫されている。 2年以上の巻末に「○学年までのまとめ」や、単元の間に「復習」を設定することで、既習内容を振り返りながら学習を展開することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「もくじ」に学習する単元と関連すること、他の学年との学習のつながりを意識して学習を展開できるよう工夫されている。 「ふりかえろう つなげよう」のページを設定し、既習内容を振り返ることで、類似性や共通性に着目しながら整理し、深い理解を得ることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元導入に「どんな学習がはじまるかな」を設定し、既習内容との比較を巻末の「学びマップ」と関連させることで、適切な反復による学習を行うことができるよう工夫されている。 巻末に「学びのマップ」として、他学年との関連内容を掲載することで、児童自ら、反復による学習に取り組む、定着状況を確認できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「もくじ」に学習する単元と関連すること、各学期の中間・期末に当たる時期に「復習」を配置したりすることで、系統性を踏まえた学習ができるよう工夫されている。 「じゅんぴ」のページを設け、単元の学習に必要な既習内容を確認することで、適切な反復と単元への円滑な導入の一体化が図られるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元導入に、「次の学習のために」を設定することで、既習内容のつながりを意識しながら新しい学習が展開できるよう工夫されている。 各学年の巻末に「学年のまとめ」「マイトライ」を設定することで、児童自ら、反復学習に取り組むことができるよう工夫されている。
<p>れ用葉思 てや考の いて図や る表数程 現し数や し伝式判 え合表断 合活グの 動ラ機 がフな 工夫を さ言</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「今日の深い学び」では、学習の進め方や話し合い活動における視点を明示することで、自他の考えを比較したり、それぞれの考え方のよさに気付いたりする活動ができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「じっくり深く学び合おう」では、吹き出しを用いて話し合いの場面を例示したり、解決方法を言葉で説明する場面を掲載したりすることで、説明の仕方や話し合いの進め方を基に活動ができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「説明したいな」「伝えたいな」「話し合いの場面で伝えたいな」のページを設定することで、学習過程において、いつ・どの場面で伝え合うのが効果的かを理解して活動ができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の計算の仕方を紹介したり、他者の考えを説明する活動を促すことで、自分の考えを表現し、深めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2～6年の巻末に設定された「算数資料集」を活用することで、筋道立てて説明する力や、図や表などの表現を基にした伝え合う力が高まるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2～6年の「自分でみんなでは、考えたことを話し合うための視点を吹き出しで分かちやすく示すことで、自他の考えを説明し合うことができるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

観点		発行者	東 書	大日本	学 図	教 出	啓林館	日 文
2	学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、 確かな学力の育成を図る上での特長	(5)	<p>思考の過程や判断の根拠などを、言葉や図、数式、表、グラフなどを活用して表現し伝える活動が工夫されているか。</p> <p>計算の仕方では、図と式を結び付けて、ブロック操作や数の分解・合成を順序良く示すことで、図と式を関連付けた説明ができるよう工夫されている。</p>	<p>発達の段階に応じて、テープ図や数直線の描き方を段階的に繰り返し取り扱うことで、図を活用して表現することができるよう工夫されている。</p>	<p>ドット図やテープ図、関係表などを学習する場を設定することで、問題解決の方法を用いて表現することができるよう工夫されている。</p>	<p>図、式、テープ図、数直線、グラフなど、様々な方法を基に説明する場面を設定することで、問題や目的に応じて説明ができるよう工夫されている。</p>	<p>グラフに関する気付きを伝え合う場を設定することで、データの特徴をとらえ、根拠をもって説明することができるよう工夫されている。</p>	<p>2年以上の「よみとろう あらわそう」では、図や式、言葉の関連やテープ図、数直線の使い方を系統的に整理することで、容易に活用できるよう工夫されている。</p>
		(6)	<p>数学のよさに気づき、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする工夫されているか。</p> <p>単元末に、学習内容を見直し、学年の振り返りや考え方を「つないでいこう」を設定することで、学びを生かすことができるよう工夫されている。</p> <p>「いかしてみよう」「ますりんつうしん」では、学んだことが生活に生かされている事例を紹介したり、発展的な問題を掲載したりすることで、算数の有用性や楽しさを実感できるよう工夫されている。</p>	<p>3年以上の「ふくろう先生」では、算数に関する話、算数と生活や社会とのつながりを紹介することで、数学のよさや楽しさにふれることができるよう工夫されている。</p> <p>ゲームやクイズで学んだことを生かす「算数だてまてばこ」や、「読み取る力をのぼそう」を掲載することで、資料やデータを的確に読み取る力を伸ばしたりできるよう工夫されている。</p>	<p>学習したことが生活の中で生かされていることを紹介した「生活に生かす」「算数に生かす」のコーナーを設定することで、数学のよさに気づくことができるよう工夫されている。</p> <p>6年では、別冊「中学校へのかけ橋」を設け、小学校の学習内容を復習したり、負の数や文字式などの中学校の学習内容にふれたりすることで、円滑な接続が図られるよう工夫されている。</p>	<p>各学年単元末の「学んだことを使おう」で、算数を見つけたら、算数を使って日常の問題を解決したりする活動を取り上げることで、数学のよさを実感できるよう工夫されている。</p> <p>「算数メモ」や「センスアップ」などのコーナーを設定し、多様な問題を掲載することで、様々な見方があることに気付いたり、発展的な問題に挑戦したりできるよう工夫されている。</p>	<p>学習したことを活用する「わくわく算数ひろば」「やってみよう」や、「算数の自由研究」を掲載することで、不思議に思うことや調べたいことを見つけて探究できるよう工夫されている。</p> <p>6年巻末の「ひろがる算数」では、算数とつながる様々な職業を紹介したり、算数の有用性をインタビューで掲載したりすることで、数学のよさを実感できるよう工夫されている。</p>	<p>これまでの学習内容を関連付けた「つなげる算数」や、身近な事象との関連が分かる「ハロー算数」「なるほど算数」を掲載することで、数学のよさに気づくことができるよう工夫されている。</p> <p>実際に測定する活動を取り上げたり、身近な数学的事象を数多く紹介したりすることで、学んだことが日常生活に生かされていることに気づくことができるよう工夫されている。</p>

Ⅲ 具体項目

発行者		東 書	大日本	学 図	教 出	啓林館	日 文
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長	観点						
	(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに豊かな記述内容となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ひと目で分かるように、太文字を使用したり、波線をつけたりすることで、大切な用語に着目し、理解が深まるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 重要な語句が強調されるようゴシック体で示すなど、書体を使い分けることで、文章の理解が容易にできるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2～6年の巻末に「この本で出てきた言葉と記号」を掲載することで、用語の意味を確認して正しく使うことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ページ下部に「算数メモ」や「算数クイズ」等を掲載することで、用語の意味を確認して正しく使うことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「めあて」や「まとめ」は、赤文字で目立つように掲載することで、本時で学習する内容が児童にも分かりやすくなるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題やめあて、まとめ、大事な説明等については書体や文字の色を変えて表記することで、児童が理解しやすくなるよう配慮されている。
(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 実物の写真を豊富に使用することで、児童の興味・関心を高め、実生活との関連が意識しやすくなるよう配慮されている。 単元末に「いかしてみよう」「たしかめよう」「つないでいこう」のコーナーを掲載することで、視点をもちながら学習を振り返ることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元のはじめに、大きな写真や挿絵等を掲載することで、新しい学習への興味・関心や見通しをもつことができるよう配慮されている。 キャラクターを効果的に登場させることで、それらのつぶやきや会話を手掛かりにしながら、意欲的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元のはじめに、生活場面や算数の活用場面を取り上げた「？を発見」を掲載することで、児童の学習意欲が高まるよう配慮されている。 算数の見方・考え方をキャラクターに置き換えて登場させることで、児童が意欲的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元末に、学習内容に関連した4コマ漫画を掲載することで、児童が学んだことのよさを楽しく振り返ることができるよう配慮されている。 巻末に、算数用具の使い方を連続写真を用いて分かりやすく示すことで、知識・技能の習得の手助けとなるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明のしかたや問題を解くときの考え方、数直線のかき方等を、「算数資料集」として巻末に掲載することで、児童の学びの手助けとなるよう配慮されている。 キャラクターを効果的に登場させることで、それらのつぶやきや会話を手掛かりにして、学習を進めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 色分けをしたり、読みやすい位置で改行したりすることで、記載している情報が児童に正しく伝わるよう配慮されている。 作業や体験等の活動を促す場面は、児童が実際に活動している写真を用いることで、その作業がイメージしやすくなるよう配慮されている。 	

Ⅲ 具体項目

発行者		東 書	大日本	学 図	教 出	啓林館	日 文
3 観点	<p>(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。</p> <p>記・学習効果や使いやすさ、表現や体裁の特長、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1年①(上巻)はA4判の紙面で作成されており、ブロックを使った操作活動を無理なく行うことができるよう工夫されている。 問題やまとめは緑色の枠、番号はシンプルな表記、全般的に淡い色づかい等の工夫により、落ち着いた雰囲気の中で、視覚的に優しく、学習に集中できるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 1時間の区切りの目安を示す「しおりマーク」が掲載しており、見通しをもって学習を進めることができるよう工夫されている。 各単元の「じっくり深く学び合おう」では、ページをめくらないと解決方法や話合いの様子が見えないつくりで、じっくりと考えることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 6年には、別冊「中学校へのかげ橋」が設けられており、中学校の学習に興味・関心をもちながら取り組むことができるよう工夫されている。 棒グラフでは、色とともに模様も変えたり、問題場面を表した図では、文字で色名を標記したりすることで、児童が利用しやすくなるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭に折り込み式で「算数をはじめよう！」が掲載されており、必要に応じて表面と裏面を活用することで、考えを深めることができるよう工夫されている。 識別しやすい配色を用いるとともに、図版に色名を付記し、色覚に關係なく区別できるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭において、学習内容の確認や復習ができる二次元コードが随所に掲載されており、必要に応じた取組ができるよう工夫されている。 始まりと終わりは目に優しい色で縁取りがしてあり、児童が見通しをもって学習に取り組むことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に切り離すことができる「学び方ガイド」が綴じ込まれており、考えを表現する際の参考にできるよう工夫されている。 折り込みを閉じた状態では、出題からめあてまでを、開いた状態では、その後の展開を見ることができるなど、学習過程に応じて使いやすくなるよう配慮されている。